日本語教育センター通信

第5号

短期集中日本語・日本文化学習コース（冬季）実施

2012年2月9日（木）～24日（金）

本学の協定校である韓国の大学の学部留学生を対象とした短期集中日本語・日本文化体験コース（冬季）を開催しました。このウィンタープログラムでは、慶熙大学・延世大学・韓南大学・東国大学から8名の受講生を受け入れました。

日本語の授業ではコース前半に、「買い物」等の場面で使う日本語を学びました。授業後に日本語パートナーと一緒に買い物や食事に行き、クラスで学んだ日本語を実生活で用いる練習を行いました。後半は映画・J-POPをテーマとして、日本語パートナーにインタビューを行い、その結果をスピーチにまとめ、最終日にスピーチ発表会で披露しました。

文化クラスでは、韓国語によるPOPカルチャーについての講義、日本語（韓国語通訳あり）による食文化についての講義、食文化体験としての調理実習・豆腐作り体験・和菓子作り体験等を実施しました。

12年度は6月～7月に約5週間のプログラム（北米の学生中心のプログラム）、7月と2月にそれぞれ3週間の短期プログラム（韓国の学生向けのプログラム）を開催する予定です。各プログラムで日本語パートナーの採用を予定していますので、ぜひ応募してください。

初級レベルの日本語クラス担当 田中恵子先生から一言

初めて日本語の授業を受ける人たちのクラスを受け持ちましたが、皆さん、約3週間（日本語の授業が設定されているのは10日間）という短い間に驚くほど多くの日本語を身につけたと思います。韓国語と日本語の言語的な近さはあるにしても、それだけが理由ではありません。日本語が話せるようになりたいという強い気持ち、そのために、与えられたものを素直に受け取り、覚えていこうとする努力、学んだことを即座に実践してみようとする意欲と積極性、こうしたものがあればこその上達だったと思います。できるだけ多くのことを吸収しよう、日本での滞在を存分に楽しもうという気持ちが強く感じられました。日本で見たこと、感じたことを何とかして日本語で伝えようと、学生同士が助け合っていたのも印象的でした。また、日本語パートナーにも恵まれ、最後には短いながらもまとまりのある発表ができました。それぞれの個性が表れた面白い発表になったと思います。

とても短い期間でしたが、教えることを心から楽しめたコースでした。今回日本語に触れたことが、学生たちの今後に何かの形で意味があるものとなるよう願っています。

日本語パートナー 文学部1回生 大塚志穂さんの感想

すごくすごく楽しかったです！

今回が初めての日本語パートナーの経験になりましたけど、本当に日本語パートナーがこんなに楽しいものだとは思っていなくて、正直びっくりしてしまいました！最初は韓国語をしゃべれるわけでもなく、英語もつたない私が上手にパートナーできるかな、と少し不安になっていましたが、留学に来た韓国の学生はみんな明るくて、やさしくて、楽しい子たちばっかりで、また、日本語もみんな積極的にしゃべることで身につけようとしていて、毎日毎日、日に日に上達していく姿を見て感動してしまいました！みんな大好きになりました！本当に、お別れがなごり惜しいです。充実しすぎた3日間でした！素敵な思い出ができました！

交換学生 西宮市スピーチ大会で受賞！

〈おめでとう！江暁茹さん〉

12年2月12日（日）に西宮市国際交流協会主催の「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」が行われ、本学からは6名の学生が参加しました。残念ながら最優秀賞と優秀賞は逃しましたが、交換学生の江暁茹さんが努力賞、国際学部3回生のナバノバ・アイリーンさんが特別賞を受賞しました。このスピーチ大会は毎年2月に行われています。ぜひ来年は出場者として、あるいは聴衆として参加してみてください。

江暁茹さん（台湾・東呉大学）

スピーチ大会に出ることができて、良かったと思っています。出場者のスピーチは皆すばらしかったし、それぞれの思いも観客に伝わるものだったと思います。涙が出るくらい、感動させられるスピーチもありました。私自身も、心を込めて、原稿を書きましたが、当日はあまりの緊張で、途中で原稿の内容を忘れてしまいました。結局内容を思い出して、無事にスピーチを終わらせられましたが、あの日のことはきっと、一生忘れられないと思います。スピーチ大会に出たことで、世界中には日本語を一生懸命勉強している人や、日本という国をもっと知りたいという人が、関学以外にもいっぱいいるということが分かりました。皆日本のことが好きで、そして国境を越えてわかりあうことを求めています。このスピーチ大会で、日本語が国際交流の橋になったと思っています。そして、これからもきっとスピーチ大会や日本語の学習を通じて、日本と世界との絆が強くなるのだと感じました。

調理実習 ～日本食文化体験～

調理実習の担当講師 徳久史絵先生から

去る2月17日、短期集中日本語・日本文化学習コースのプログラムの中で調理実習を担当しました。その内容は韓国の学生に『飾り巻き寿司』を中心にした日本食のメニューを作ってもらうというものです。この『飾り巻き寿司』は切り口に模様が出るという楽しい巻き寿司なのですが、今回私が選んだ『蝶々』の模様は特に初心者にとってはなかなか難しく、うまく出来るかな？と心配でもありました。でもしばらくすると、

「わぁー！」

あちこちで声が上がり始めました。出来たお寿司を切ると思わず声が上がってしまいますよね。

学生のお寿司の模様もちゃんと『蝶々』に見えていました。確かに少し太った蝶や、やや傾いた蝶もいましたが、ほとんど完璧な形に出来た学生もいてびっくり。そしてつまみぐいしながらも真剣に作る様子が可愛らしかったです。他のメニュー『ブリの照り焼き』『しめ卵のお吸物』も上出来で、味見にとつまんでくれたブリは丁度いい味でした。

日本に来て1週間ほどなのに日本語で上手に言葉を選んで話しかけてくれる学生もいて、感心してしまいました。明るく前向きな学生のおかげで楽しい時間を過ごせました。

〈写真上：学生が作った飾り巻き寿司
写真下：徳久史絵先生〉

発行人：関西学院大学 日本語教育センター
発行日：2012年4月7日

日本語教育センターができて早一年が過ぎました。
2012年度も引き続き、さまざまな活動を行ってまいります。
どうぞよろしくお願いいたします！